

舟入高校第3学年進路だより No.5

1. 今後の進路関係行事確認（5月1日時点判明分）

臨時休業が延長され、様々な行事が年度当初からずいぶんと変わってきました。ここでは進路に関係することについて、変更点や今後変更の可能性があります。それを整理しておこうと思います。

模擬試験

- ・全統記述模試 ~~5月16日(土)、17日(日)~~ → 6月6日(土)、7日(日)
- ・進研マーク模試 ~~5月30日(土)、31日(日)~~ → 6月13日(土)、14日(日)

小論文関係

- ・第1回小論文模試の申込（担任提出×切）~~5月11日(月)~~ → 6月3日(水)
- ・第1期小論文個別指導の申込（担任提出×切）~~4月20日(月)~~ → 6月8日(月)
- ・第1回小論文模試 ~~5月17日(日)~~ → 6月14日(日)

*申し込み用紙は再度配布する予定です。

3年保護者進路説明会

~~5月23日(土)~~ → 6月20日(土)

オープンキャンパス

- ・東京大学 ~~7月11日(土)、12日(日)~~ → 今年度中止（オンライン配信検討）
- ・京都大学 インターネットを活用して8月頃に実施
- ・大阪大学 8月頃にインターネットを活用した方法で開催
- ・広島大学 中止、実施規模の縮小や形態の変更等を行う場合がある
- ・県立広島大学 中止及び延期の可能性があります

（今後多くの大学で中止、変更の可能性があります。各自HP等で確認すること。）

総合型、学校推薦型選抜（旺文社より抜粋、4月20日の資料です）

萩生田文部科学大臣は17日の会見で、「私案」段階であることを強調したうえで、今年の総合型選抜、学校推薦型選抜について募集時期を遅らせたい意向を示した。これはまだ決定事項ではなく、これから文科省内で検討がなされる模様だ。（以下大臣の発言）

入試は各大学が自主的に行うものだが、新型コロナウイルスによる臨時休業が続く中、事態の重大性、緊急性に鑑み、文科省としても受験生を第一に考えた配慮措置が必要と考える。当面は総合型選抜（9月以降に出願）、学校推薦型選抜（11月以降に出願）において受験生が大きな影響を受けることが予想される。このため中止、延期となった各種競技大会や文化活動等に参加できなかったことや、出席日数や特別活動等の記録が少ないことをもって、部活動等の諸活動の実績の評価や、調査書において特定の受験生が不利益をこうむることがないように、各大学に配慮してもらいたい点など、高校・大学関係者等と相談をしながら速やかに検討する。

（中略）私案ではあるが、総合型選抜や学校推薦型選抜の募集の時期を遅らせる必要があるという問題意識を省内当局に伝えたところ。従来どおりのスケジュールで入試を行うことが子どもたちにとって、学校にとっていいことなのか。例えば仮に（強調）、スポーツの全国大会ができないとすると、スポーツ推薦の学部で全国大会出場などが出願要件にされている受験生はいなくなる可能性がある。それを2年生の実績で判断するとすると、2年生でレギュラーだった生徒はごく少数だ。

この状況が収束したあとで、予定されていた大会は後にずらしてでも開催を積極的にしてもらいたい。しかし仮に（強調）そういう評価がしづらい環境になったとしても、その大会に出るまでの能力があったかどうかについては、県単位では判断がつかいと思われる。大学には調査書だけではなく面接を加えるなどして、こうした点を丁寧に評価してもらいたい。

様々な予定の変更、または変更の可能性により混乱が続いていますが、実はしっかりと入試本番の日に一步一步近づいています。今はしばらく辛抱の連続ですが、その辛抱が今後自分の力となって助けてくれるはずです。

がんばれ、3年生！！（共通テストまであと254日）

「一念発起は誰でもする。努力までならみんなする。そこから一歩抜き出すためには、努力の上に辛抱という棒を立てろ。この棒に花が咲く。」 桂小金治